

第1回 郡上市議会報告並びに 意見交換会

開かれた議会を目指して

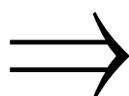
合併10年目を迎えましたが、広大な郡上市には様々な課題があり、郡上市議会としても課題解決に向けて取り組んでいるところです。

市民の皆様に議会の活動を知って頂くと共に、ご意見やご提言をお聞きする目的で議会報告会を開催し、今後の市政運営や議会改革に活かしていきたいと考えます。

どなたでもご自由に参加できますので、是非多数ご参加下さい。

議会報告

常任委員会ごとに、議会活動状況や市政の課題を報告します。



意見交換

報告した内容を中心に、質疑応答や意見交換を行います。

平成25年5月23日（木）

白鳥ふれあい創造館（交流ホール）

白鳥町白鳥359-26

（受付 19:00） 19:30～21:00

平成25年5月24日（金）

郡上市総合文化センター（多目的ホール）

八幡町島谷207-1

（受付 19:00） 19:30～21:00

主 催 郡上市議会
お問い合わせ 郡上市議会事務局
〒501-4297 郡上市八幡町島谷228番地
TEL 0575-67-1830 FAX 0575-67-1821

*総務常任委員会

- ① 条例関係
地域自主自立性を高める改革と地方分権による条例化
- ② 郡上ケーブルテレビ事業を民間へ指定管理委託
事業概要：(株)郡上ネット「代表：稲葉 秀章」H25年3月引継
- ③ 行政交付金（継続事業）
予算額：24,084千円
事業概要：自治会活動を高める事により、行政情報の連絡や行政協力を円滑に進める事を目的に、自治会連合会7支部に対し行政交付金を交付する。
- ④ 生活安全対策事業（継続事業）
予算額：6,849千円
事業概要：関係機関・団体と連携し管内の防犯体制の強化を推進する。また自治会等が設置する防犯灯に対し補助を行う。

*産業建設常任委員会

- ① 林業・林産業振興特別対策事業（新規事業）
予算額：241,937千円
事業概要：郡上市の林業・林産業を振興するため、市内における加工施設の整備に対し支援する。白鳥地域 製材所1ヶ所
- ② 企業誘致促進事業（新規事業）
予算額：4,397千円
事業概要：企業誘致専門員の費用弁償等と製材工場立地にかかる自然環境調査経費、水源確保工事費
- ③ 郡上クリーンセンター管理運営費（継続事業）
予算額：398,410千円
事業概要：郡上クリーンセンター管理運営にかかる経費
- ④ 郡上クリーンセンター大規模修繕事業（継続事業）
予算額：160,000千円
事業概要：ごみ処理施設修繕費とリサイクルプラザ施設費

*文教民生常任委員会

- ① 高校生等医療費助成事業（市単独新規事業）
予算額：33,204千円
事業概要：高校生等に掛かる医療費の一部を郡上市商工会商品券にて助成し福祉の向上と地域の活性化を図る。
- ② 郡上市がんばれ子育て支援事業（市単独新規事業）
予算額：6,000千円 債務負担：30,000千円
事業概要：4月2日より第3子が生まれてから小学校に入学するまでの6年間、年10万円の商工会商品券を支給する。
- ③ 小中学校耐震補強事業（継続事業）
予算額：448,021千円
事業箇所：大和南小・石徹白小・明宝小・八幡中・八幡西中・高鷲中の耐震強化改修及び、補強を実施する。
- ④ 中学校校舎等整備事業（継続事業）
予算額：921,671千円
事業箇所：大和中、明宝中

北部第1回議会報告並びに意見交換会

平成25年5月23日19時30分

於 白鳥ふれあい創造館

一般参加者43名 議員18名 事務局 3名

司会者

郡上市は合併して10年を迎え、その面積は県土の約1割、1030平方キロです。そうした中で市内にはいろいろな問題があります。その中で今日皆様方からご意見やご提言を頂きながら、郡上市議会で活かしていきたいと思いいこの会を設定しました。

今回は第1回目ということで皆様方に迷惑をおかけすると思いますが、どうかよろしく願ひいたします。

議長

お仕事でお疲れの中をお出かけ下さいましてありがとうございます。

郡上市が合併して10年目に入りましたが、そのあと国の厳しい財政状況を受けて、国の交付税も大きく減らされました。あの時1千億円の新市建設計画を作っていたわけですが、その後約600億円まで減額されています。

郡上市の場合、少子高齢化で人口の減少等の対策が必要ですし、雇用の場などの産業振興策、あるいは活性化策さらには市の職員の定数削減もありますし、また、市の財政の健全化も大きな課題です。市民の皆様には合併後も期待に応えられない現状と思ひます。

郡上市議会におきましても、旧7カ町村の頃には90名の議員がいましたが、合併の特例で30名になりその後21名になり、昨年春には大選挙区で18名になりました。

前置きが長くなりましたが、今晚の議会報告並びに意見交換会の趣旨説明を行います。

まずはじめに議会と議員についてですが、議会は地方公共団体におかれる合議制の議事機関で市長の提案と議案を議決する議決機関で、議会を構成する議員と市長は共に市民の皆様選挙で直接選ばれ、市長は郡上市を統括し事務を管理し執行します。

議会は市の行政を監視したり、さまざまな政策を立案したりする立場にあります。これを2元代表制と言ひまして、議会と市長のそれぞれの役割を明確にしているわけですが、議会も市長も市民の皆様意思を対等に代弁する2元代表制の機関として、お互いに均衡と調和を図って緊張感を保ちながら、郡上市の運営に取り組む姿勢が必要であろうと思ひます。一般的には議会と市長との関係をチェックアンドバランスとか、車の両輪と呼ばれますけれど、近年には一台の車の両輪でなくてそれぞれ目標は同じであっても、2台の車が並行して走って目的のために向かひていくのが2元代表制のあり方ではないかとも言ひられています。特に議会のあり方としては、市民の皆様方の目線にたつて必要があれば市長側の提案を修正したり、また、議会側から提案をするのがこれから求められる姿勢であると思ひます。

郡上市議会では総務、産業建設、文教民生の三つの常任委員会と議会運営委員会、議会だより編集特別委員会や議会行政改革特別委員会など四つの特別委員会を設けています。常任委員会では市長より提出された議案を一旦それぞれの常任委員会に付託します。そこで調査や審査して、本会議で委員長が報告をし、そのあと質疑、討論、採決を経てその議案が議決、決定されることになっています。なお議会の内容は資料の3ページ目に付けています。

昨年4月に大選挙区による選挙を経て、従来なら各地域の選出議員という立場でいろいろ仕事させてもらいましたが、もちろんそれぞれの地域の仕事も当然ですが、大選挙区になり郡上市全体を考える議員という立場も、これからは考えていかなければなりません。市民の皆様が開かれた活力ある郡上市議会を目指し、昨年4月、新しく設置しました議会行政改革特別委員会で研究調査をし、郡上市議会の最優先的課題として今回、18名全員が出て、議員自らによる市政報告会とは違ひ「議会報告並びに意見交換会」をここに計画したところです。本来ならば全地域で開催すべきと思ひますけども、まずは今回の白鳥会場と明日の八幡会場の二会場をいたしました。市議会と致しても初めての取り組みです。なにかと不手際もあろうかと思ひますし、また質問によっては即答できないということもあろうかと思ひますが、その点はお容赦をいただきたいと思ひます。

今回は3月定例会が終わりましたので、当初予算の中から特に重要と思われるテーマを各常任委員会三点程度に絞り、常任委員長からそれぞれ報告させていただきます、そのあと市民の皆様から率直な疑問や議会等に対するご意見を頂きながら、今後の議会の改革として市に対しては政策の提言に活かしていければありがたいと思ひます。

夜分で限られた時間ではありますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたしまして挨拶

とします。

司会者

このあと三つの常任委員長から委員会の報告をいたします。

議会は3月、6月、9月、12月の四回の定例会があります。3月は予算議会、9月は決算議会と言われています。今回はその3月の重要な25年度の予算議会を終えまして、それぞれの常任委員長から案件について説明をします。それぞれ常任委員長は10分間説明を行い、そのあと皆様方からの質疑応答を行います。質疑の時間は30分を予定しています。そのあと意見交換会を行います。閉会は9時を予定していますのでよろしくお願い致します。

最初に総務常任委員長お願いします。

総務常任委員長

お手元の資料の中にそれぞれの所管事項が載っていますが、前期まで特別委員会の中に市有林特別委員会、公共交通の特別委員会、過疎辺地特別委員会がありました。現在は総務委員会の所管です。1ページ目に総務常任委員会の報告事項が載っていますので説明いたします。

説明にあった76議案のうち20件の議案の付託を受け審査いたしました。

また24年度の補正予算と25年度の新年度予算は18件ありますが、予算特別委員会がありますのでそこで審査しながらまた、予算特別委員会の中に分科会を作り、私たち、総務分科会は議会費、総務費、衛生費の中の斎場運営管理費、消防費、公債費、予備費等の審査をしました。

特に1番目の条例の制定や一部改正について報告します。

毎年、国のほうで法律が変わりますと地方自治体においてもそれに関係するところの条例を改正しなければなりません。今年度は特に地域主権の義務付け枠付けの改革をするために、これまでは国が一律に義務付けてきた基準、あるいは政策等を自治体が条例の制定等により自ら決定して、実施していくように24年の4月から改められました。経過処置として25年の3月31日まで、私たちも新しく制定したり、改定したりしました。独自の事例として市営公営住宅の整備の基準や道路構造の基準、標識及び児童福祉施設の設備及び運営基準、それから特別養護老人ホームの設備及び運営基準、あるいは障害者サービス等の設備及び運営の基準、保護施設の設備及び運営の基準、公共職業能力開発施設の行う職業訓練、あるいは高齢者、障害者等の移動等の一括化の基準、あるいは都市公園の設置の基準、あるいは水道技術者の職員の取得の関係等の条例の制定や改正の審議を致しました。

二点目は郡上ケーブルテレビの事業を指定管理にふみきりました。新会社は、株式会社郡上ネットと言いますが、3月29日に引き継ぎ式を行い、第三セクター方式で、会社を立ち上げ市も関与していく義務があり出資を行い、地元企業の参加による育成と地域雇用の確保あるいは経営の安定した移行、スケールメリットを活かした経営の効率化、新たなサービスの提供、それから都市部加入者への観光情報の発信で、指定管理料は0円です。

この会社は出資金2,000万円、市が監査権を保有するための25パーセント100株で500万円、白鳥の郡上ネットが45%で900万円、八幡のINGが15%で300万円、CCAが15%で60株300万円です。

続いて3番4番を合わせて報告いたします。行政交付金、生活安全対策事業です。昨年総務委員会として郡上市7地域の自治会の皆様方と意見交換会を行いました。その中で防災活動、消防団の組織、市民協働、自治会の活動、公共交通の便、空家対策、議会活動の件も含めて25年度事業に反映するように議会として市長に政策提言したところです。

行政交付金ですが自治会交付金として、2,408万4,000円を継続事業ですが、市の連合会本体へ百万円、各地区自治会当たり2万円×107件と一戸当たり1,400円×戸数分を自治会のほうに行政交付金として、自治会活動を高めることで行政情報の連絡や協力を円滑に進めるために7支部に交付しています。

次に生活安全関係ですが、空家対策、防災防犯、犯罪迷惑行為等のない明るい町づくりのために684万9,000円の予算が組まれています。特に自治会の防犯灯の設置には25基を予定し、一基4万円の見込みです。今季自治会関係で要望のありました、組織の活性化事業、地域団結や支え合い、再生等の取り組みに100万円、これは10万円×10のモデル団体を募集しています。それから自治会の提案型として沿道林の整備事業に100万円白鳥地域の要望事業として取り組んでいます。次に指定避難所の耐震補強工事に地元負担を1割にして限度額500万円まで助成するように、25年度でまとめて次年度から実施できるように取り組んでいます。その他、消防の安心安全事業で防災無線のデジタル化に24年、25年の計6億5,000万円で整備が完了いたします。市有林は森林簿の面積で現在1,652.98ha所有しています。総務委員会は皆様の意見や要望をお

聞きしながら市政に取り組んでいきますので今後ともよろしくお願ひします。

産業建設常任委員長

産業建設は分野が広く、農林水産から商工観光、環境水道、下水道まで教育福祉を除く全ての市民生活に関わる事業を所管しています。

今回の予算議会では新聞等でも取り上げられた、中国木材の誘致決定に係る懸案が大きな審議事項であり、事前に視察にも行ってきました。

企業誘致促進事業は新規とありますが、昨年から専門委員を委託していますが、費用弁償だけで活動して頂いており、3件を昨年より取り組んでもらっています。本来市の職員に専門員を置いて取り組むべきで、過去にもチャンスを逃しているとの指摘を受け市長に伝えたところ、現在は職員の削減に取り組んでいるので、すぐには難しいがいずれは設置したいとの返事で、それまでは商工観光部に頑張ってもらいたいとの事です。

もう一点は林業、林産業振興特別事業に関わる案件で白鳥に誘致する中国木材で、1月23日に本協定を締結いたしました。基本的には民間同士の締結であり市は条例に則り補助するものです。たいへん大きな会社で騒音や環境汚染等、懸念等いろいろあり2月に視察して来て疑問や問題点も払しょくできました。後程、質問があればお答えしますが、林業の衰退の中、雇用や森林資産の活用などこの分野の活性化に期待できる要素は大です。

次にクリーンセンターのことでありますが、継続事業で3億9841万円という今年度予算ですが、昨年度の処理費用が5億5000万円かかり、ゴミ袋は50円で買ってもらっていますが、その処理費が371円掛かっています。家庭から出るゴミは減っていますが、持ち込みの事業系のゴミは、9.8%の増加となっています。燃料費の高騰で、今年度予算で足るのかどうか危惧はありますが、市と市民と連携して少しでも減量化や再資源化に努める必要があります。

文教民生常任委員長

1番目高校生等福祉医療の件です。予算額が3320万円で市単独の新規事業です。

概略は高校生と有職者を含む医療費の助成事業です。昨年までの乳幼児や小中学生の医療費助成を、高校生18歳まで拡大し医療費の自己負担相当額を郡上市の商品券をもって支給する事業です。助成の対象として、満15歳に達した日以降の最初の4月1日から満18歳に達する日以降の最初の3月31日までとなります。

助成内容は納められた自己負担額を支給するものです。申請の月は年3回で、6月10月12月です。委員会の審査の中で、対象者は高校生だけかとの質問に、市内で働いている18歳以下の有職少年も対象になる、助成は領収書により資格審査は必要なく審査支払手数料は発生しないとのことでした。スポーツ保険との関係では個人的に加入しているとのことで、保険からの支払いがあっても医療費の自己負担額は助成されるとのことです。地域活性化のための商品券での助成は地域振興にはなるが、病院へ掛かることと地域の活性化と結びつけることはいかなるものかとの意見がありましたが、最終的には原案通りとなりました。

2点目は頑張れ子育て応援事業という新規事業です。概要として郡上市では子育て世代に安心して住んでいただき、沢山の子どもを生み育ててほしいとの願いから、平成25年4月2日以降に生まれた第3子以降のお子さんを対象として、小学校入学前の6年間、毎年10万円の郡上市の共通商品券を支給する事業です。

委員会では、所得制限を設けないのかとの質問や、6年間の債務負担を行うことで仮に国が第3子保育料等の無料化がなされたときにどうするのかとの疑問がありました。

「これの答弁は、少子化対策のための事業であり、現行の子育て支援事業の拡大であるとのことでした。またこの事業は第3子の保育料の無料化が発端であるとのことであるが、同時入所を小学校3年生までとしたとき、どれほどの予算が掛かるか試算したかとの質問に対し、この事業を考えると財政的に保育料の無料化との比較をしたが、現在の園児数から換算すると18歳未満を非同時入園としたときに、3歳から5歳までの枠は136人で2,777万円ほどの歳入減となる。小学校3年生までとしたときは27人が対象となり483万円ほどの減であるとの答弁でした。次に第3子の保育料を無料化できないかとの質問があり、第3子についてゼロ歳から2歳まで支援なしではインセンティブが少ない、小学校3年生までとした場合には27人となりインパクトが少ない。3人目を産んでいる母親は30歳代に対して20歳代は半分くらいしかいないので、かなりの子供の数が減少すると予想されるので、今の時点から出来る限りの支援をしていきたい。また現制度の子育て支援事業でも出生率は少しずつ上がってきているが、育成合同計画の策定時のアンケート調査によると、若い世代が一番何を望んでいるかとの調査項目では、児童手当のような経済的支援が一番望んでいることから、この制度が一番有効であるとの答弁でした。」

事業施行日が4月2日であるために、1日のことで6倍の差が生じることは不公平であ

るとの意見や、現在小学校入学前の対象者にも10万円の商品券を支給し、予算額600万円を3600万円に計上すれば債務負担行為はなくなるとの意見もあった。また新規事業が議決されても施行日までの周知期間が短すぎる。妊娠期間を考えると一定期間猶予することが望ましいとの意見もあったが、結果として原案通り600万円の6年間の債務負担行為で行うことで合意しました。

3点目4点目の小中学校の耐震補強と中学校整備事業については併せて報告します。

市内小学校22校、中学校8校の耐震診断、体力度調査、コンクリート調査の結果IS値0.3未満の施設については優先的に耐震補強工事を行うとともに、校舎棟を優先して整備を行う。IS値0.3以上0.7未満の施設については過去の耐震状況、施設全体の老朽化及び将来的な学校規模を考慮し、改築工事もしくは補強工事を実施する状況です。合併前の平成8年の相生小学校の補強事業から平成22年の郡上東中学校、24年には白鳥中学校が終了し、25年には大和中学校校舎棟の着工、八幡中学校の耐震補強工事、大和南小学校、石徹白小学校、明宝小学校、八幡西中学校、高鷲中学校については自主設計が予算化してあります。この事業につきましても、平成27年には終了の予定です。

25年度末の耐震化率は非木造のRC工法の場合、77.2%、木造の場合は、91.7%です。

司会者

3常任委員長から報告を受けました。ここで質疑応答に入らせていただきます。その前に、ただいま委員長が述べたことは委員会で審議したことです。個人的な意見はありませんのでご了承ください。今日は18人の議員全員が出席していますが、個人への質問は受けられませんので委員会への質問をお願いします。

司会者

産業建設常任委員長より補足があるそうです。

産業建設常任委員長

1番目の林業、林産業振興特別対策事業に関連して、2億4193万7千円、用地または土地の開発費を補助することになっています。この他に林業振興や人材育成などの新規事業を設けています。森林林業人材育成として市内の森林資源が充実するなかで、大型製材工場の稼働が計画されていますが、これに伴い森林整備のほか、素材生産活動の増加が見込まれるため、森林技術者の育成確保の経費として国や県の林業担い手確保や育成研修への参加支援、二番目に業務に必要な研修の受講費の助成、新卒の高校生の林業就業者に対する支援をしていく、また団体等が主体的に行う人材育成のための研修会開催等の助成、また原木を安定供給するための体制作りとして、26万5千円進出協定が締結されたことに伴い円滑な稼働に向けた地元の体制整備や原木供給体制の構築等が早期に必要となってくる、需要増による皆伐や間伐の増加が予想されるが、良好な森林環境と木材資源を維持管理するための仕組み作りが必要であるため原木供給に向けた課題整理や林業、林産業者の連絡調整及び各種調査検討会をおこない、地元の体制整備を円滑に進めていくための事業化も計画しています。

参加者

林業関係の工場である中国木材が進出されることは木材関係の発展に寄与されると思っています。できれば地元の人材を職員等に採用していただければ。若い人の職場として期待しています。

文教民生の中のがんばれ子育て支援のことですが、4月2日よりこれから生まれる第3子ということですか？もし1週間前に生まれたらもらえないのでは不公平なのではないでしょうか？できれば不公平にならないように額は減っても多くの子供たちに対象になってもらいたい。

文教民生常任委員長

個人的な意見は言えませんが、そんな意見もあった中で4月2日以降との決定になりました。

産業建設常任委員長

雇用の問題ですが、広島へ視察に行ったときに本社からかなり離れたところの北広島工場も見してきました。ここは郡上と同じくらいのスケールでして、森林組合や製材工場と中国木材と組合を作ってすべて地元の雇用で、森林組合からは事務員一人で全て中国木材の社員でした。確認はしていませんが郡上もそのような形態になるかと思います。

参加者

私は中濃法人会に属しています。産業建設の2番目の工場誘致に関して知人で岡山へ進出した企業がありますが、誘致には熱心ですが後のフォローがないとのことで、郡上市内でも誘致は今までもありましたが、企業は進出してからも問題が発生しそのほうが大変であり行政に相談しても力になってくれないとのことでした。市は役所の人員を減らす方向のようだがきめ細やかなサービスがより必要と思われるがいかがか。

産業建設常任委員長

ただいまご指摘のあった通り、兼務であることと、市内の状況などを細かく把握できていないこと、問題処理が迅速でないことまた、郡上市の特徴を生かした特有の優遇措置などが必要との意見も聞いているので、課題として市へ声を届けていきます。

参加者

産業建設常任委員長にお聞きします。中国木材の進出で木材の需要ができては材を出荷するのに林道や作業道の整備も必要と思われる。特に荒れた林道や作業道の修理などにも助成してほしい。

もう一つは前回の議会選挙で定数が減るのに市民から反対の声がでなかったのは、議員が市民の声を届けてこなかったのではないか、また、そのためには小選挙区制のほうが地域の声を届けていく義務感も出るのではないか。

産業建設常任委員長

中国木材だけでなく、道の整備は必要と考えています。この3月議会で持続的森林経営確立総合対策実践事業として必要な作業路の改良に支援を行うよう予算化しました。今年度ですが、事業効果は2億7000万円との試算も出ていますので、今後も継続して随時整備していきたい。

議長

昨年春から大選挙区制で選挙を行いました。行うに当たり住民の中からも小選挙区制を残すよう要望書も出ましたし、議会の中でも検討する中で小選挙区制のほうが地域の意見を届けることができるとの意見もありました。しかし財政を考慮することも大事なことで、合併して8年を経過するに市の一体感も大事なことであり、市内どこの地域のことも自分たちの地域として考え、意見を述べるのが大切であると考え決定しました。

住民の中から議員の数の必要性を問われなかったのは、議員として反省すべきところもあったことを踏まえ、今回の報告会も行うことになりました。今後も大選挙区制になったから声が届かなくなったと言われぬ様に、議会が市内全体を網羅できるように頑張っていきますので、ご理解をお願いいたします。

参加者

白鳥の自治会の担当している者です。今、若い方が意見を言ってくれたことを重く受け止めたい。報告会のほうは市長と語る会のほうがわかりやすいし、議会のポーズ作りにも見える。市民の中には地元の意見を伝えることが議員の仕事だと思っている人がまだまだ多い。私たち自治会に携わる者も議会とのかかわり方が悩ましい。今の議会が地域に対してどのように向かってくれるのか示してほしい。

議長

ただいま意見のあったことが議会の課題であります。議会行政改革特別委員会を設けているのは議会基本条例を目指し、議会の仕事の定義付けを考えて、その中に市民と議会との位置付けも答えを出していきたい。今回の新しい議会の取り組みはそんな意味合いも含めているので、意見を参考にしながら新しい議会の形作りをしていきたいと思えます。

司会者

皆様方から貴重な提言やご意見を伺いありがとうございました。時間もまいりましたので閉会に移りたいと思えます。閉会の挨拶を副議長が申し上げます。

副議長

皆様最後までありがとうございました。第1回の議会報告でありましたが、私は報告よりも意見交換会のほうに時間を取りたいと思えていましたが、初めてということで報告のほうが長くなってしまいました。先ほどご指摘にあったように、まだまだ行政報告との違

いを出せない状態かなと思っています。私は皆様からのご意見を公式に残していくことが継続する意味でも大事だと思っていますので、是非とも皆様からのご意見をいただいて、議会の改革を進められたらと思っています。市長は行政組織という巨大な組織を背景に住民と結びつきながら様々な取り組みを行っています。一方我々は市長に対抗すべく住民と結びつき同じような力を持って市長とも対峙していきたいと思っています。我々議会としても皆様からのお力添えをいただいて頑張っていきたいと思っていますので、これからも何卒よろしくお願ひいたします。

今日ご意見をいただけなかった方もアンケートにご記入いただき、またどんな形でもよろしいですから皆様からのご意見をいただける議会になって行きたいと思っています。これから第2回第3回と続けてやっていきます。またご意見いただきました地域との結びつきもしっかりやっていきます。今夜は本当にありがとうございました。

南部第1回議会報告並びに意見交換会

平成25年5月24日 19時30分

於 郡上市総合文化センター

一般参加者33名、議員17名 事務局4名

司会者

最初に議長から挨拶と趣旨説明をいたします。

議長

第1回郡上市議会報告と意見交換会に、昼間のお疲れの中をお出かけ下さいましてまことにありがとうございます。

平成16年3月1日に郡上市がスタートしてから、今年は10年目に入っています。合併はしましたが、その直後から国の厳しい財政状況により、郡上市も地方交付税が削減されました。当初は約1000億円の新市建設計画を立てましたが、国の緊縮により約600億円に減額を余儀なくされています。

今日、郡上市の課題として、少子高齢化と人口の減少化の対策もしなければなりませんし、また、若い世代の方の雇用の場作りである産業振興や活性化事業とか、さらには市の職員の定数削減や、市の財政の健全化計画など、皆さんそれぞれ合併して希望もあったと思いますが、期待に十分応えていない状況であります。

合併前の議員は90名いましたが、合併時には特例で30名と3分の1にしました。

その後、改革も含めて21名に、さらには昨年、大選挙区で定数も18名と削減してまいりました。

今晚は初めての報告会ということで説明も長くなりますが、先ずはじめに議会の議員ですが、地方公共団体におかれる合議制の議事機関です。わかりやすく言えば執行部の提出する議案を議決する機関です。議員は市長とともに直接選挙で選出され、市長は市を統括し事務とか管理を執行いたします。当局を執行部と私たちは呼んでいます。また、議会は市の行政を監視したり、あるいはさまざまな施策を立案していく立場にあります。議会と市長は2元代表制と位置付けられていて、それぞれの役割を分担しているわけです。議会も市長も市民の声を対等に代弁する2元代表として、私たちも郡上市の運営に取り組んでいます。市長と議会をチェックアンドバランスとか、車の両輪とかいっています。お互いの関係に緊張感がなければいけないと思っています。特に議会は市民の皆様の目線に立って、必要があれば市長の提案事項を修正したり、議会から政策提言がこれからは求められていく時代であります。

郡上市議会では現在、総務常任委員会、産業建設常任委員会、文教民生常任委員会の3つの常任委員会と、議会運営委員会、さらに議会だより編集委員会や、議会行政改革特別委員会など4つの特別委員会があります。

委員会では本会議で審議される前にあらかじめ市長から提出された議案をそれぞれの委員会に付託をして調査や審査をします。本会議では審査した委員会の報告を受けて質疑討論採決を行い1つの議案を議決いたします。なお議会の内容につきましてはお手元の資料の3ページ目に掲載しています。

昨年春の大選挙区制での選挙を経て、従来までのような各地域の選出議員という立場から、郡上市全体を考える議員でなければならないとの認識に立っているわけです。市民の皆様が開かれて活力ある郡上市議会にならなければなりません。昨年より議会改革特別委員会を設置して最優先の課題として、今回の議会報告そして意見交換会の開催を計画した

ところ です。

本来ならば全地域で開催すべきと思いますが、今回は初めてということで2会場で計画いたしました。不手際があったり、質問に対して即答できないこともあるかと思いますが、ご容赦をいただきますようお願いいたします。

今晚は3月の予算議会を終えまして、その中から特に重要と思われることや、議論を重ねたものを各委員会4つくらいに絞り各委員長から報告し、その後皆様から議会に対して普段思っていることや質問をいただき、これからの議会のありかたや議会の改革にあるいは市政運営について政策提言や立案できるように、今回皆様と膝を突き合わせる中で勉強させていただきたいと思っております。夜分の限られた時間ですがご協力をお願いいたします。

司会者

3常任委員長から約10分くらいずつ、この3月議会の重要案件につき報告した後、委員長報告への質疑、そして意見交換会ということで9時には終了いたしたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

最初に総務常任委員長から報告をします。

総務常任委員長

お手元の資料に議会概要が載せてあります。その中の総務常任委員会の所管事項は載せてある通りですが、過去に市有林の特別委員会、公共交通特別委員会、過疎辺地の特別委員会がありました。現在は総務常任委員会のほうへ所管が移っています。

3月定例会においては、76件の議案がありその内20件を総務常任委員会が付託を受けました。また24年度の補正予算、25年度の新年度予算については予算特別委員会がありまして、その中で議会費、総務費、衛生費の中の斎場運営費、それから消防費、公債費、予備費の審査を総務分科会としていたしました。

3月定例会では、特に条例改正や条例制定が多くありました。今までは条例の一部改正がよくありましたが、これは国の法律改正に合わせて改正するものであります。今回は特別の義務付け枠づけの見直しであり、今回の条例制定は地域主権改革のためのもので、これまでの国が一律に決定して自治体に義務づけていた基準や政策等を自治体が条例等で自ら決定して行うようにし、国の基準と異なる独自の基準を制定したところです。

内容は要点だけ申し上げますと、公営の住宅の整備に関する事、それから道路の構造、標識に関する事、児童福祉設備、運営に関する事、特別養護老人ホームの設置、設備及び運営に関する事、障害者サービス等の設備あるいは保護施設の設備、運営に関する事、また、公共職業能力開発施設の行う職業訓練、あるいは高齢者、障害者の移動等の一括化の基準、都市公園の設置基準等々です。

次に合併以来始まりました郡上ケーブルテレビですが、第3セクター運営会社を設立して指定管理に移行しました。これは株式会社郡上ネットのほうに指定管理をしたわけですが、指定料は、0円です。郡上ケーブルテレビは健全に運営されてきており、年間に5000万円程の積み立てを行ってきていますので、郡上ネットにも年間5000万円程は市のほうへ入れてもらえるようになっています。

会社の代表取締役は白鳥のGNC社長の稲葉秀章さん、持ち株は45%、180株の900万円、郡上市が25%の100株500万円、4分の1の監査権を有しております。それからING、細江社長さんの所ですが、60株300万円、それからCCN岐阜のケーブルテレビですが60株の300万円、それから取締役としてNHKの今までケーブルテレビで相談役をしていただいていた富田さん、それから監査役に商工会長の白田さん達に参加いただき3月29日に引き継ぎ式を行い、運営を行っているところです。

当初の投資は13年から17年までに56億8,000万円くらい、18年から24年までに3億2000万円、これまでに約60億円の投資をしているわけですが、この後の市の起債が約20億円、24年度末の負債残が1億8,400万円くらいであります。現在基金として24年度末で2億5250万円持っております。今後5~6年先にはいろいろな機器の更新、それから10年先には全体のケーブル機器の更新をしますと合わせて48億円から50億円ほどかかることとなりますので、積み立てながら今後の設備投資に備えていかなければならない状態ですのでご理解をお願いいたします。

続きまして総務委員会として昨年、7地域の自治会の皆様方と意見交換をさせていただきました。自治会長さん方、述べ113名ほどの方に意見をお聞きしまして170項目ほどのご意見や提言をいただきました。それを委員会でもまとめて市のほうへ提言いたしました。他の委員会もそれぞれ提言していますが、私たちは防災活動、消防団、市民協働、自治会活動の関係、公共交通、空家対策、それから議会の活動の関係など、議会だよりに掲載されていますが、新年度より市に取り組んでいただいています。特に自治会の行政交付金については例年通りの継続ですが、2,400万円ほどを連自治体本部と各単位の自

治会長さんのほうに1単位2万円、それから世帯割1戸当たり1,400円として予算が組まれています。それから自治会活動の活性化として地域の絆、助け合い、支え合いなど再生取り組み等の補助金100万円ですが、これは10万円を1単位に10モデル団体を予定しています。それから空家対策、防犯防災、犯罪、迷惑行為等のない生活安全対策に680万9,000円を組み、地域の防犯灯の設置に1基4万円で25基を計上しています。そして振興事務所長枠ですが、1,960万円で7地域に280万円です。

また自治会提案型の事業として、沿道林の整備事業に100万円程予算を組んでいただきました。木漏れ日作戦に合わせた道路の清掃整備で現在白鳥の地域から要望がでています。それから避難所耐震補強補助の要望が出まして、集会所とか避難所について改修したり、公民館等の修繕には30万円を下限に、300万円までの2分の1補助になっていましたが、25年度予定されるところでは、地元の避難所、待避所については地元負担が1割で上限500万円に検討されており、これは25年度に調査や申請を見ながら、26年度より実施していくように取り組んでいます。

防災では、消防のデジタルの関係も24年度と25年度に周波の統一事業とか、活動波を含めて6億5000万円の予算で今年終わるところです。それから先ほど述べましたが市有林の関係ですが、市には33カ所の市有林があり、森林簿面積で1653haありますが、これも将来にわたり取り組んでいかねばならないと思っています。

産業建設常任委員長

産業建設常任委員会は農林水産部、または商工観光部、建設部、それに環境水道部そして水道事業部の4部ですが、教育や健康福祉以外の生活に直結した身近な部門を担当していますが、きょうは3月議会での大きな問題である林業、林産業についてを中心にお話しさせていただきます。

市長の25年度市政運営の基本理念は安心安全、活力、希望という言葉を支柱にされておみえです。中でも企業誘致や雇用問題が大きな柱として入っており、今夜のレジュメの中にも2番の企業誘致促進事業ということで、ここに新とっていますが、企業誘致専門委員には昨年度からお願いをしています。土岐市在住の方で我々委員会も昨年暮れに懇談会を持ちアドバイスをいただいたところですが、委員が言われるには、郡上に進出しようとする企業にどれだけの郡上市のメリットをアピールできるのかが大事なことで、市の中に専門の委員を配置することが必要であると言われました。

そのことを市長に尋ねたところ現在は職員の定数を削減しているところであり、すぐには難しいので、商工観光部の職員に兼務させているとのことでした。

今回、進出の決まりました中国木材につきましても、商工課の課長、農林水産部の林務課長と副市長がプロジェクトを組んで行われてきました。これは基本的には民間同士の契約であり、市がそれに用地の確保または環境調査等の援助や、用地や土地造成などに県と同様に市の定めるところによって補助を行うものです。郡上市の面積の約9割が森林であり豊富な資源としての活用が活性化を促してくれるのではないかと、との大きな期待を込めて議決したところですが、1月23日に本協定が結ばれたと新聞発表がありましたが、議会としてもなかなか情報が伝わらないこともありましたが、これを受けて2月の20日21日に本社と北広島市にある、郡上へ進出予定と同規模の工場を、委員会で視察に行ってきました。行く前に心配していたのは、騒音やほこりまた水質汚染と労働災害でしたが、作業はコンピューター化されたラインで問題があればストップして、大きな災害の起こることはないとのことでした。これからは従業員が確保できるかとか、材木が要るだけ調達できるかの心配もでてきますが、協定が結ばれた以上、いかに発展していくかを願っているところです。

3番4番の郡上クリーンセンターの管理運営費また、その大規模修繕費ですが3億9841万円という費用ですが、23年度決算は5億5,000万円ほどの経費がかかっています。この経費をいかに少なくするかは、市民の皆様一人一人がゴミの分別やリサイクルにより努めて頂くことで減らすことができます。もう1点は現在ゴミ袋を50円で、市民の皆様にご購入いただいています。一袋で6キロの重さですが、その処理費用が371円かかり費用負担のほうが大です。市民の皆様にご理解をいただき、少しでも減らしていきたいと思っておりますのでご協力をお願いいたします。また委託修繕費として計上してありますが、職員もできるだけ長く持ちこたえる様に頑張っています。リサイクルプラザ施設は以前の処理場跡地に本来は駐車場を作るとの思いもありましたが、補助金の関係でここに設置することになりました。

文教民生常任委員長

最初に高校生等福祉医療費助成事業です。予算額が3,320万円ですが、高校生と有職者を含む医療費の助成事業で、乳幼児、小中学生の医療費助成事業を高校生まで拡大し

た事業で、自己負担額を助成するものです。

この件につきましては文教民生常任委員の中で質疑があり、高校生だけでなく、市内で働く18歳までの有職者を含め対象にしたもの。助成は領収書により申請となるため資格審査は必要なく、審査支払料は発生しないものであります。またスポーツ保険の関係につきましては、高校生は個人的にスポーツ保険に加入しているが、保険の支払いがあったとしても医療費の自己負担額に対して助成するものです。また地域活性化のための商品券による助成となるため地域振興策となるが、病院に掛かることと地域の振興策と結びつけることはいかなるものか、との意見もありましたが、結果として原案通りとなったわけです。

続きまして、2点目のがんばれ子育て応援事業という新規の事業です。これは子育て世代が安心して郡上に住んでいただき、沢山のお子さんを産んで育ててほしいとの願いから、平成25年4月2日以降に生まれた第3子以降のお子さんに対して小学校入学までの6年間、毎年郡上市の共通商品券で10万円分支給するものです。

これに対する委員会及び予算特別委員会での質疑は、所得制限の考えはなかったか、また6年間の債務負担を行おうとしているが、仮に国が第3子の保育料の無料化がなされたときにはどのようにするのかという質問がなされ、これに対し所得制限は考えていない、がんばれ子育て支援応援事業は少子化対策のための事業で、現行の子育て支援事業を拡大したものであるとのことでした。

次の質疑は第3子の保育料の無料化が発端であるとのことだが同時に入所を小学校3年生までとしたとき、どれほどの予算を試算したかとのことでした。これに対し保育料の無料化も検討したが、現在の園児数から換算すると18歳未満を非同時入園としたときに3歳から5歳までの枠は136人となり、2,777万円の歳入減となる。小学校3年生までとした場合は27人が対象で483万円ほどの減となるとの答弁でした。次に第3子の保育料を無料化できないかとの質問があり、第3子について0歳から2歳まで支援なしではインセンティブが少ない、小学校3年生までとした場合には27人となりインパクトが少ない。3人目を産んでいる母親は30歳代に対して20歳代は半分くらいしかいないので、かなりの子供の数が減少すると予想されるので、今の時点からできる限りの支援をしたい。また、現行制度の子育て支援事業でも出生率は少しずつ上がってきているが、育成合同計画の策定時のアンケート調査によると、若い世代が一番何を望んでいるかとの調査項目では、児童手当のような経済支援が一番多かったことから、この制度が一番有効であるとの答弁でした。この中で事業施行日が4月2日であるために一日違いで6倍の差ができるのは不公平でないか、また現在小学校入学前の対象者にも10万円の商品券を支給して、予算額を3,600万円計上すれば債務負担もなくなるとの意見もありました。また新規事業が議決されるとしても施行日までの周知期間が短すぎる、妊娠期間を考えると施行日を一定期間猶予することが望ましいとの意見もありましたが、最終的には原案でいくことになりました。

続きまして小学校の校舎の耐震補強事業中学校の校舎整備事業。この件については市内の小学校22校、中学校8校の耐震診断、体力度調査、コンクリート調査の結果調査の結果IS値0.3未満の施設については優先的に耐震補強工事を進めるとともに、校舎棟を優先的に整備を行う、またIS値0.3以上0.7未満の施設については、過去の改修状況、施設全体の老朽化、および将来的な学校規模を考慮し、耐震工事及び補強工事を順次進めている状況です。また合併前の平成8年の相生小学校の補強工事から平成22年の郡上東中学校、平成24年の3月には白鳥中学が竣工し、24年の5月には大和中屋内運動場の着工及び25年春には完成、また25年度大和中学校の校舎の着工及び八幡中学校の耐震補強工事、また大和南小学校、石徹白小学校、明宝小、八幡西中、高鷲中については実施設計料が予算化されています。平成27年度までにはこの事業の終了を予定しています。ちなみに平成25年度末の耐震化率につきましては非木造の77.2%、木造の91.7%です。

司会者

3常任委員長から平成25年度の重要な案件について報告いたしました。ただいまから質疑応答に入ります、

参加者

総務常任委員会の4番の中に生活安全対策事業とありますが、眺めてみるときに、たとえば和良で殺人事件がありましたね。これはまだ迷宮になっていますが、これに近い形でその直前のようなことが西乙原でありました。こういった事案に目が向けられているのか。防犯灯については、今の時代は車社会であるので各地域の境目など各ポイントに監視カメラを郡上市の中に数年計画でも取り付けていく必要があるんじゃないかと思えます。今日のテレビで、東京で起きた事件が青森で犯人が逃走中に捕まりました。これはコンビニな

どのカメラから分析して捕まったとのこと。西乙原のことでも8時半ごろで警察が来て2時40分ごろまでいろんな調査をしていきましたが、逃げたら一本道で、美並の高速まで行ったらもうわからなくなることを思ったとき、和良の事件も防犯カメラが設置されていたならば、足取りなどで追いかけることができたのではないかと。郡上は安心だと思いましたが都会並みの事件が起きるということを想定した対策を検討していただきたい。

総務常任委員長

防犯カメラのことについてはある時期委員の中からも出ました。市として設置はないのですが、バスターミナルとコンビニ、それから高速の出入り口にはすでに設置してあります。質疑の中では7地域に付けるには観光客の多いところもあたり負担が大きいとのことでした。しかし今言われましたように将来的には例えば郡上踊り、白鳥踊りなど外部からの観光客も大勢ありますので、そういったことも考えていく必要がありますし、また広い地域であり和良のことも言われましたが未解決であり、そうしたことへの取り組みは今後重要なことであります。先ほど言いました消防関係の無線、移動、啓蒙など防犯とは違いますが中消防署から発した電波が市内一元化でやっ通じることになりましたし、振興事務所、消防関係は方面隊までいきわたるようやっ整備されたことですので、含めながら検討していきますのでよろしくお願いします。

参加者

産業建設委員会の1番の製材の加工施設が今度くることは私も新聞で見ましたが、どのような内容なのか。それと市の土地を提供する支援でしょうか？あとは、広島へ視察に行き検討を行ったとのことですが、これまでに工場誘致を行ってうまくいかなかったこともあるし、決まったことを言っても仕方がないのですが本当にうまくいくのか具体的にどのような検討がなされたのかお聞きします。

産業建設常任委員長

以前、八幡の方からなんで中国から製材を連れて来るのかって言われたこともあったんですが、広島にある中国木材という社名の会社でして、昔の長良川ウッドが今は休業していますが、そこを利用し同じ内容で国産材を利用して作っていくものであり、広島では米松を主に利用していますが、こちらでは国産材を活用し製品化していくものであります。こちらの製材業者なども自分たちの仕事がなくなるのではとの心配や懸念をしてみえますが、この会社は小売りなどや一軒の家を賄うのではなくて柱などを作って市場へ出していくものです。いずれは10万立米との思いもあるようですが、当面は3万～5万立米で計画されています。

あと、土地を買ってあげるのかとの質問ですが、工場誘致でもそれ用に土地開発した所ならたやすいのですが、長良川ウッドの跡地利用と周りの山林を買収してのもので、会社の買収価格と地主の要望価格との差があり、市は雇用の発生や原木の流通など経済波及などのメリットを考慮して補てんすることになりました。一般の工場誘致とは少し違うところですが、環境整備などに2億4197万円ということ。

参加者

それだけ費用をかけて、森林組合との関係とか原木が沢山いるのをどのように出材していくのか？

産業建設常任委員長

視察した北広島の大朝工場が、ちょうど郡上と類似したところで、そこでは地元の森林組合、地元の大手製材会社、それに中国木材の関連会社などが協同組合を作って工場を経営しています。雇用はすべて地元の人を使用していました。また沢山の材木が集まるかとお尋ねですが、計算の上では郡上市の中で木の生長量が27万立米ありますので十分回転していけるとのことですが、県内や市場も利用していきます。中国木材の社長や常務も何回も郡上を訪れてみえて、原木の質が良くって価格もある程度はよそより見込めるのではないかと、視察の時にお聞きしました。

参加者

こういう会を議会の皆様が中心となって開かれたことに敬意を表します。私や2～3人に聞いても初めてのことですので、議員の皆様方も変わってきたのかなと感じていますが、先ほどの説明で各委員会に対する質問ということでしたが、私は今子供たちにスポーツを教えています、そういう一番票にならない部分がこの中に入らないのがさみしい気がします。

現在すべての小中学生が各々スポーツに参加する状況の中で、この部分にもう少し議員さんたちの力を添えて頂いてもう少しお金がこちらに回るようにしていただけないかと思えます。先般の市長さんとの懇談会の中でも、指導者が不足している状況がありますので、市職員の採用の時には別枠でスポーツの指導者資格を持って子供たちのスポーツに携わりたいというような職員を一人でも二人でも採用いただいで、毎年一人ずつ増えていけば10年10人20年で20人になるわけで、これからはハードな事業はいっぱいできておりハードなものは維持費もかかりますし、上を見ればきりがございませぬがだいたい充分であると理解しております。まだ芝生グラウンドなど欲しいものもありますが、人をどう育てていくかというソフトの部分に金をかけずとも知恵を出して、将来を担う子供をどう育てていくかということを実際に議員の皆様がたに検討して頂きたいと思えます。郡上の中には何百人もの指導者もおられますので、力を結集して育てていけば子供たちの非行もなくなる。スポーツは子供も紳士淑女にしますし、そういうところに光をあてていただければ次の選挙にもどなたか公約の一つにも入れて頂ければと思えます。3年後には期待していますのでどうかよろしくお願いします。

議長

おろそかにしていることではないのですが、先ほどの子育て支援のように将来を背負っていく子供たちに指導すべきことは大事なことです。社会体育やクラブ活動等指導者の皆様にはご苦労頂いていると理解していますが、さらに子育て等お金で支援もありますが活動で導いていくことやあるいは元気にしていくことも、子供は郡上の宝でございしますので大事なことと参考にさせていただきます。ありがとうございました。

副議長

ここに掲載してあるのは目玉だけですので、実際には保健体育とか、少年スポーツ推進事業、体育協会支援事業、スポーツ推進委員活動事業とかいろんな予算が組んでありますので、まったくないことではありませんがさらに充実していくように、私自身も少年スポーツをやっていますのでさらに力を入れていきたいと思えます。

参加者

このような会を設けて頂き住民として感謝いたしております。ありがとうございます。私は委員会に対しての質問ではなくて要望のようなことですが、合併前にも非常に議論されてきました各地区の町有林、村有林がありました。合併と同時に財産区ということで、名前も変わりましたが各地区で管理することは同じであります。その後各地区で扱い方が違うように聞いているわけでありませぬ。

和良の場合ですが、これは市の方で特別会計でもって管理するんだということで一切が市の方へ移管されたという状況であるわけですが、年々の収支決算も議会のほうで吟味されているようでありませぬが、ほかの地域ではそうもやっていないこともあるようでありませぬ。ですからほとんどの地区から市議会の先生がおみえになるわけで、自分とこの財産区はどういう扱い方をしているのか、あるいは今後の郡上市を考えた場合、どういった管理の仕方がいいのだろうか合わせてご返答を伺いたしたいと思います。と言いますのは和良においても従来の和良病院の旧病棟を解体する予算をつけて頂いたわけですが、そのあとに防災センターが良いのかまたはお年寄りが気軽に集まれる建物が良いのか検討していかねばならない時期が来るのではなからうかと。その場合に財産区の木がもし利用できたならばと思っているのですが、要望で申し訳ないのですがよろしくお願いします。

総務常任委員長

財産区の特別会計とのことで、今言われたことはちょっと違っていて、財産区の扱いはすべて同じです。たまたま1、2の財産区には市の会計を通してないところがありますが、法的に市の会計を通すようになっていませぬ。責任者は市長でありますので、そして財産区のないのは八幡町だけです。あとは合併してもそのまま地域の名前あるいはその下の区の名前で残っています。今言われた財産区のお金ですが、これは財産区の管理組合が決めて頂いたものが妥当であれば使っていただいでけっこうです。しかし計画はいったん市に提出していただいで議決を経ることになります。扱いはどこも同じです。

参加者

私は消防協会の副協会長をしています。郡上市の財政厳しい中で資機材を工面していただいで感謝しています。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。

参加者

産業建設委員長にお伺いします。先ほどの中国木材の問題で、たいへん力を入れておられるとお聞きしました。しかし戦後日本中が復興のために木を切り出し、山は裸になりその後には杉が植えられました。郡上において過去に水害が何度も起きていますことを考える時に、落葉樹がないために保水力がなく洪水で災害が起きています。北濃の家が流れたり、五町のトンネルが詰まったり山崩れがあったりしましたが、ここでまた大きな木が出ていくことを考えますと、経済的にはよろしいかもしれませんが、落葉樹のことをどのように考えておられるかお伺いします。

産業建設常任委員長

この問題についても中国木材の社長ともお話をしました。実際に伐採して山を裸にして後のことはどうでしょうと聞きましたら、会社の方も山を育てるという考えで、購入出来る山があれば購入したいとの意向も伺いましたが、広葉樹を植えるということに関しては、以前に八幡町で城の山を購入し桜や紅葉など植えましたが、郡上の山に広葉樹を植えることに対しては議論をしていませんので、いったん持ち帰って市長を交え検討したいと思えますので、この件については課題とさせていただきますのちに結果をお知らせいたしたいと思えますのでよろしくお願いたします。

参加者

学校の補強とか建て替えに大きな予算がついていますが、ちまたで問題になっている、いじめの問題に対して郡上には現在はないと思えますけれど、40年代のように中学校が荒れて乗鞍青年の家で八幡は来るなど言われたこともありましたが。実際、今はないのかということと、学校週休2日制になって郡上の子供の学力はどのくらいの位置にあるのか。難しいと思えますが今後調査してみる考えはないかお聞きします。

文教民生常任委員長

教育委員長に尋ねたことがあり、教育委員長もないとは言い切れないとのことでしたが、テレビで問題になっているような大きないじめはないとのことでした。いじめの定義も難しいのですが、よってたかって弱いものをいじめるようなことは問題ですから早めに見つけて対処できるようにいたしたいと思えます。

僕は教員ではありませんので、学力のことは申し上げられませんのでお願いたします。

参加者

ここに説明はありませんが濃飛横断特別委員会のことで質問いたします。濃飛横断整備特別委員会とありますが、整備とはどういうことなんでしょうか？

濃飛横断整備特別委員会委員長

濃飛横断自動車道は、中津川市から郡上市を結ぶ80キロの路線を整備することです。今は下呂、金山間にトンネルができました。これから岩屋ダムを超えて和良までのトンネルを工事にはいりますが、中津川市から郡上市を結ぶ自動車道です。

参加者

勘違いをしていました。私は今日、110段の階段を上って高速道路を使って名古屋へ行ってまいりましたが、6人の人が利用されました。7時49分です。私はよく利用するのですが、あそこの階段は心臓破りの階段で、お爺さんやお婆さんがやっとこ上がっているのを度々目にしますが、駅前の整備の話聞いていますけど、1日10往復するバスのうちで、たとえ2つでも八幡の駅まで下りるように話してもらえないかと、夜も下るのは大変怖いですし、朝も段々を登るのは辛いです。以前に社長さん宛てに手紙も出してお願したこともありましたが、なかなか難しいと言われました。今は観光客も利用者が増えて若い女性も多く利用します。私たちの作る会は、1年に1回そこを大掃除していますが、今日見たら草が伸びていてまた7月には予定しています。そこでなんとか1回か2回で結構ですから、駅まで下りてもらえるように力添えをお願できないでしょうか？

総務常任委員会委員長

このことは前々から要望を受けてネクスコへも話を持っていってますが、高速道路を走るバスは高速から出られないのが原則です。そして八幡のインターでは当初五町の料金所の手前の広い所が予定されていたのが、法律の改正で本線から出たはいけないということになり変更したことから、あのような急な階段になったとのこと。ですから今は岐阜バスしか下へは降りていませんし、高速バスは時間上と採算上バス停を増やさないことが原則です。そこで車をもう少し上まで行けるように道をつけることが、許可をもらえれば

市の事業で行うことは、不可能ではないと考えます。あそこの環境が良くないことはそのとおりですので課題として努力いたしたいと思います。

参加者

運転手さんに大変なことを告げたらこんな所は異例だけど、京都の深草にも同じような所があり、そこは駅まで降りれるようになったからできるはずと言われました。

何か事件でも起きたら遅いですし、なんとか皆さんで考えていただきたい。また、私たちも一生懸命それに応援いたしますので是非お願いいたします。

総務常任委員長

京都、大阪はそこが発止めなので降りれます。それからネクスコとバス会社は別ですので、バス会社とも話をしていきたいと思っておりますのでお願いします。

先ほどの市有林のことで少し述べます。管理者を市から委託しています。、森林組合のOBの遠藤さんをお願いして、管理と現場を歩いてもらって今後の施業について検討していただいています。この前、委員会で栗巢にある以前の郡有林に登ったんですが、良く手入れされていました。あそこは複層林でして大径木の間に若い木が植わっています。今後は広葉樹との混合林も視野にいれながら、山と水をまもることも取り組んでいきたいと思っております。

司会者

皆様方から貴重な提言やご意見を伺いありがとうございました。時間もまいりましたので閉会に移りたいと思っております。閉会の挨拶を副議長が申し上げます。

副議長

今日はありがとうございました。第1回の意見交換会ということでなるだけ報告は短くして皆さんの意見をお聞きするつもりで臨んでおりましたけれど、議員というのとはにかく喋りがちで皆さんの意見を聞かない傾向がありますので、これからも皆様方の意見をもっともっと聞ける意見交換会になればと思っています。

私がいつも思っていることは、市長は巨大な行政組織を土台に行政を通じて住民と結びつきながらさまざまな取り組みを行っています。2元代表制の一方の市長は絶大な力を持っていますが、その一方、我々議員も市民の皆様方と結びつくことによって市長と対等な力を付けていかなければなりません。そんな思いで今日の「議会報告並びに意見交換会」を開催したところですが、これからこの会を恒久的に継続していくことによって住民の皆様と双方向的な関係を築きながら、議会を改革していきたいと思っています。是非ともご理解とご協力をお願いいたします。

時間が十分にごさいますので、お配りしたアンケート用紙に口では言い難いこともびっしりとお書きくださいますようお願いいたします。

アンケート調査

白鳥会場

可決した案件でなく、これからの市の課題について議会としての考え方を示して欲しい。
(50代男)

広報で知り得る事の重複はいらない。議会として何をするべきかを示す会議にして欲しい。
(60代男)

意欲は感じられるが形式的すぎた。(60代男)

議会が抱えている課題や、具体的な動きを提示して欲しい。(60代男)

地域との関連を具体的に示して欲しい。(60代男)

議会での活動を説明して頂きよく分かりました。(60代男)

この時期、時間でよいと思います。(60代男)

伝わってくるものがない。(60代男)

やめたほうがよい。(60代男)

説明がわかりにくい。一方的な説明ばかりで意見交換が出来なかった。残念！(50代男)

一般質問を受けて欲しい。時間が押し詰まってから、市民からの意見が出、良かったが答弁が長い。(50代男)

各委員長報告は、もう少し要領よくやるべき。事前勉強等が出来ていないため、時間が押されてしまう。(60代男)

議員の中に居眠りをしている者がいた。ふざけるな！(60代男)

行政報告会であり、郡上市の方向付けを聞きたかった。行政と同じで事務的に感じた。(60代男)

年3回 今回の時間でよい。(60代男)

初めての試みで改良を加える部分もあるのでは？市長部局との違いをどう打ち出せるか。(60代男)

内容が議会だよりで分かるものばかり。(60代男)

議会での審議結果報告は議会だより、広報でされるので必要ないのでは。有用な時間の使い方検討願いたい。(60代男)

若い人の出席がない。(50代男)

説明が多く参加者の発言時間が少なかった。(60代男)

年1回ぐらいは開催すべき。(60代男)

説明は短く、意見交換を長く。(70代男)

皆さん一生懸命取り組んでおられました。報告会を開催された事がまず大きな一歩だと思います。(30代男)

決まった制度等の報告会で意見交換が少ないのは、これからの政策の事を話して欲しい。(30代男)

委員会報告で質疑のやりとりも報告してくれたので、とてもよく分かりました。(30代男)

市民の意見がもっとあるべきだと思います。もっと気軽に意見が発言できるようにして欲しい。(30代男)

時間は今日ぐらいだとありがたいです。時期については議会に動きがあった時が良いかと思っています。(30代男)

年2回：5月に3月議会で議決した予算を主とした報告(質疑の内容をメインとして) 11月に9月議会で議決した決算を主とした報告、又、議員で考えている条例に対しての市民の意見を聞けるような場になると良い。(チラシで事前周知して) (30代男)

白鳥の出井さんのお話に賛同します。が今回は一歩前進とは思いますが。(60代男)

コーヒーを飲みながらの楽な会だったらと思います。(60代男)

説明が長い。やや難しい。マイクの調子が悪くて聞き取りにくい。使い方の問題？(60代男)

男)

市民と行政のパイプ役としてのこの会はありがたい。(60代男)

普段着の会が良いのでは？その為には、行政に明るくよく分かる解説者のような役があると良いのでは？議員の資質にかかる事かもしれないが、分かりやすい説明は必要である。(60代男)

「地域自主自立性を高める 条例化」「自治会規約」が3分の2もの改正要件？いかななものか？(60代男)

カメラが回っており、まるで議会のよう。カメラは必要なのか。(60代男)

出井さんの意見が聞けて良かった(出席した甲斐があった)。予算(事業)の説明ではなく、議員さんの声(出来れば18人全員)を聞きたい。(50代男)

時期は5月中～下旬で良い。時間は2時間欲しいが、1時間半でもやむを得ない(密度を上げる工夫をすべき)(50代男)

各常任委員長の説明につき、時間は短かったものの簡潔にまとめて話して頂いた。議会行政改革委員会で、今後の進め方も考えて行くとの話が聞けたことは良かった。意見を取り入れていくと言う議会の心構えについても聞けて良かった。(50代男)

他地区の議員さんの顔が見られただけでもよかったと思う。(60代男)

まだ初めての事で分からないが、今後も開催して欲しい。時期もまだ分からないが、時間的にはこの時間で良いと思う。高校生医療費の詳細につき議会日より、広報等で説明して欲しい。(50代男)

八幡会場

机の並べ方が悪い。囲まれていて息苦しい。(50代男)

参加者が少ない。参加者の年齢が高い。若者の参加を呼びかける必要。(60代男)

1回目であり、やや低調であったが今後とも続ける必要がある。時期としては年2～3回、時間は夏で午後7：30、冬は7：00(60代男)

十分な時間を持つべき「時間が少ない」(70代男)

距離の近い、直接的な意見交換出来ていたと思う。良い会ですので、もっと参加者が増えて欲しい。継続して下さい。(30代男)

もう少し参加者があると良い。今後も継続して頂きたい。(50代男)

参加人員の増加に更なる努力を望みます。住民の声を届けるには大変良い機会と思います。(70代女)

あらかじめ予定を！(60代男)

第1回の開催に感謝、敬意。(50代男)

今後もこの形で行って欲しい。(50代男)

質疑応答有り、まあまあ良かった。(70代男)

6月定例議会開会後に、夜間開催したらどうか。(70代男)

年に1回はあると良いですね。(40代男)

初めてという事らしいですが、大変意義のある事と思います。定期的にお願いします。時期、時間は現状で。(70代女)

参加者に若者が来て欲しいと思います。少なかったですね。(70代男)

年1回行って下さい。各団体に呼びかけて欲しい。(70代男)

議員さんの郡上の未来に対するビジョンをお聞きしたかった。今後も是非続けて頂きたい。もっとPRをして下さい。(60代男)

議員の方々の姿勢を清々しく感じました。市民としては、議会が執行部の提案をどのように議論、検討されているのか知りたいです。執行部の提案がほとんど通るのは素晴らしい提案だからでしょうか。(70代女)

議会のあと報告を兼ねて開いて頂きたいです。また、絞った問題を説明していただくのもよいかと思います。内容に慣れていないので、なかなか理解できない感じでした。(70代女)

市民と議員の屈託のない意見交換が出来た。今後もこう言う場を続けて欲しい。(50代男)

7地域でやって欲しい。参加が少ない。もう少し宣伝して欲しい。出来れば、予算をつける前に開催して欲しい。(50代男)

誠実なお取り組みに敬意を表します。フルキャストで、市民と対話する機会はきわめて貴重です。(50代男)

いかにして大勢の市民が参加するか。商売ではありませんが、お客がどれだけ関心を持ってきてくれるのか、考えてくれるのか。この点を少し戦略的に考え、手配して定着させていって頂きたい。まだまだ、このせっかくの機会を知らないだけで、PRし、誘っていけば次は来ると思います。(50代男)

初の試みであり、十分評価できる。もう少し時間があれば良い。(50代男)

アンケート集計

白鳥会場

議会だより

	毎回見る	たまに見る	見ない
30代	3	1	
40代			
50代	8	1	
60代	13	10	
70代	2	2	

ケーブルTV

	毎回見る	たまに見る	見ない
30代		3	1
40代			
50代	1	7	1
60代	2	19	1
70代		2	

出席者	
30代	4
40代	
50代	10
60代	23
70代	4

男	女
4	
10	
23	
4	

知った

チラシ	14
ポスター	1
議会だより	14
誘われて	13
ケーブルTV	4
その他	6

印象

	良かった	まあまあ良	あまり良くなかった	良くなかった
30代		2	2	
40代				
50代		6	3	
60代	3	5	12	1
70代		3	1	

八幡会場

議会だより

	毎回見る	たまに見る	見ない
30代		1	
40代	1		
50代	7	2	
60代	4	2	
70代	4	3	1

ケーブルTV

	毎回見る	たまに見る	見ない
30代			1
40代			1
50代	1	7	
60代	2	7	2
70代	1	3	

出席者

30代	1
40代	1
50代	9
60代	7
70代	9

男

女

1	
1	
9	
7	
5	4

知った

チラシ	8
ポスター	1
議会だより	3
誘われて	10

ケーブルTV	4
その他	3

印象

	良かった	まあまあ良	あまり良くなかった	良くなかった
30代		1		
40代		1		
50代	6	3		
60代		8	1	1
70代	1	3		